

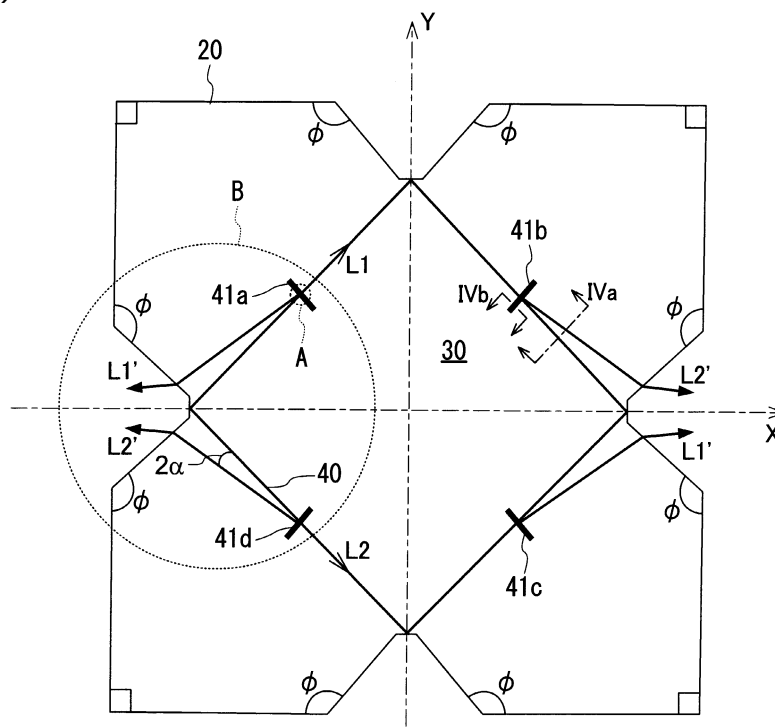
技術の名称

半導体レーザ素子を用いた光ジャイロ

適用分野

光ジャイロ

- 目的 全反射モードでのレーザ光を励起すると共に共振器からのレーザ光の取出しが容易な半導体レーザ素子を用いた半導体レーザジャイロを提供する。
- 効果 本発明によれば、全反射モードでのレーザ光を励起すると共に共振器からのレーザ光の取出しが容易な半導体レーザ素子を用いているので、ジャイロに用いるのに十分なレーザ光が出射され、高特性のジャイロが得られる。
- 技術概要 本発明に係る半導体レーザ素子は、共振器30を備え、その端面において全反射される多角形の周回光路40を互いに逆方向に周回する第1、第2のレーザ光L1、L2を励起するよう構成されており、その周回光路40の途中には、共振器30の実効屈折率とは異なる屈折率を有するエアギャップ41a、41b、41c、41dが形成されていてこれらのエアギャップによってレーザ光L1、L2の一部が反射されて出射L1'、L2'される。

■ 特記事項、
図など■ 主たる提供
特許

特許等の名称 : 半導体レーザ素子および半導体レーザジャイロ

登録番号 :

出願番号 : 特願2007-298492

公開番号 :

出願日 : 平成19年11月16日

■ 実施実績

有、 ○無

■ 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp